

安全データシート (SDS)

1. 物質または混合物及び会社情報

製品名 : デービーボンド DB5541

製品の名称 : アクリル系溶剤形粘着剤
会社名 : ダイアボンド工業株式会社
住所 : 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 4085
担当部門 : 品質管理課
電話番号 : 046-285-0985
Fax 番号 : 046-286-4292
メールアドレス : dbtec@dbbond.co.jp
緊急連絡先 : 046-285-0985 (担当部門に同じ)
推奨用途及び使用上の制限 : 接着用途に限る

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : 引火性
GHS 分類
物理化学的危険性 : 引火性液体 区分 3
健康に対する有害性
急性毒性 (経口) 区分 4
急性毒性 (経皮) 分類できない
急性毒性 (吸入 : ガス) 区分に該当しない
急性毒性 (吸入 : 蒸気) 区分 3
急性毒性 (吸入 : 粉塵・ミスト) 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2
呼吸器感作性 分類できない
皮膚感作性 区分 1
生殖細胞変異原性 区分 2
発がん性 区分 2
生殖毒性 区分 1A
生殖毒性・授乳影響 追加区分
特定標的臓器毒性 (単回暴露) 区分 2
特定標的臓器毒性 (反復暴露) 区分 2
誤えん有害性 分類できない
環境に対する有害性
水生環境有害性 (短期間) 区分 2
水生環境有害性 (長期間) 区分 2
オゾン層への有害性 分類できない

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気
飲み込むと有害
皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
吸入すると有毒
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
授乳中の子に害を及ぼすおそれ
中枢神経系、眼、呼吸器系、血液の障害のおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系、眼、血液、呼吸器、腎臓の障害のおそれ
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き [安全対策]

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急措置]

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用

していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

口をすすぐこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

火災の場合：消火するために粉末消火剤、耐アルコール性泡消火器または二酸化炭素を使用すること。

漏出物を回収すること。

[保管]

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物や容器を、地方自治体の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名又は一般名：アクリル系溶剤形粘着剤

主成分：ポリアクリル酸エステル等

成分及び含有量

化学名又は一般名	CAS No.	PRTR 法				労働安全衛生法		含有率 (%)
		特定 一 種	一 種	二 種	非 該 当	該 当	非 該 当	
ポリアクリル酸エステル	社外秘				○		○	50～70
ソルベントナフサ	64742-94-5				○		○	10～20
ナフタレン	91-20-3		○			○		1.86
1,2,4トリメチルベンゼン	95-63-6		○			○		0.31
1,2,3トリメチルベンゼン	526-73-8		○			○		0.53
ミネラルスピリット	64742-47-8				○	○		0～10
酢酸カルビトール	112-15-2				○		○	10～20
2-プロパノール	67-63-0				○	○		0～10
トルエン	108-88-3		○			○		6.6
アセチルアセトン	123-54-6		○			○		4.4
合 計								100%

4.応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

その他

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

5.火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 水
- 特定の消火方法 : 付近の着火源を絶ち、保護具を着用して風上から消火する。
- 消火を行なう者の保護 : 保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、呼吸保護具、保護眼鏡等の保護具を着用する。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出物を回収すること。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
- 除去方法 : 風下の人を退避させる。漏出した場所の周囲にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。消火用器材を準備する。作業の際には、必ず保護具を着用し風上から行なう。少量の場合は、おがくず、ウエス、砂等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。多量の場合は、土砂、土のうなどで流出を防止した上で、空容器に回収する。回収には、火花を発生しない安全シャベルなどを使用すること。廃棄物などは関係法規に基づいて処理すること。流出その他事故が発生した場合は、警察署、消防署等の関連機関に連絡する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 注意事項 : 取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。

安全取扱い注意事項： 消防法の危険物第一類（酸化性固体）及び危険物第六類（酸化性液体）とは、混合接触させてはならない。

保管

適切な保管条件： 直射日光を避け、容器を密閉し 5℃～35℃で保管する。
 着火源、高温物を近づけない。
 容器を密閉しておくこと。
 容器を接地しアースをとること。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。

安全な容器包装材料： 弊社より出荷した包装容器を使用すること。

その他、電気機器は防爆構造にする他、消防法、労働安全衛生法等の法令の定めるところに従う。

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

化学名又は一般名	ソルバントナフサ	ナフタレン	1,2,4-トリメチルベンゼン	1,2,3-トリメチルベンゼン
管理濃度	未設定	10ppm	未設定	未設定
許容濃度 日本産業衛生学会 (2012年度版)	記載なし	未設定	25ppm 120mg/m ³	25ppm 120mg/m ³
ACGIH (TLV) (2012年度版) STEEL	100ppm 400mg/m ³	未設定	25ppm	25ppm 123mg/m ³

化学名又は一般名	ミネラルスピリット	酢酸カルビトール	2-プロパノール	トルエン
管理濃度	未設定	未設定	400ppm	20ppm
許容濃度 日本産業衛生学会 (2012年度版)	記載なし	未設定	400ppm 980mg/m ³	50ppm 188mg/m ³
ACGIH (TLV) (2012年度版) STEEL	記載なし	未設定	200ppm 400ppm	20ppm 知見無し

化学名又は一般名	アセチルアセトン
管理濃度	未設定
許容濃度 日本産業衛生学会 (2012年度版)	未設定
ACGIH (TLV) (2012年度版) STEEL	25ppm

設備対策： 局所排気装置等、排気の為の装置を設置し、蒸気が滞留しないようにする。
 取扱い場所で使用する電気機器は、防爆構造とし機器類はすべてアースを取る。
 取扱い場所の近くに緊急用の洗眼設備及びシャワーを設ける。

保護具

呼吸保護具： 有機ガス用防毒マスクを着用する。
 保護眼鏡： 保護眼鏡を着用する。
 保護手袋： ゴム製等の不浸透性保護手袋を着用する。
 保護衣： 長袖作業着を着用する。

9.物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: 粘稠液 (20℃中)
色	: 淡黄色透明
臭い	: 特徴的な臭気がある (20℃中)
pH	: 測定できない

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	: 82℃以上
引火点	: 35℃ (セタ密閉式)
発火点	: 238℃以上

爆発特性

爆発限界 : 上限 : 19.4 下限 : 0.9

蒸気圧 : 5.87×10^3 Pa (20℃)

蒸気密度 : 空気より大

溶解性

溶媒に対する溶解性 : 水に不溶

比重 : 0.8~1.0 (20℃)

10.安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱いにおいては安定。
危険有害反応可能性	: 火気により引火、爆発の危険有り。
避けるべき条件	: 知見無し
混触危険物質	: 知見無し
危険有害な分解生成物	: 知見無し

11.有害性情報

	<u>ソルベントナフタ</u>	<u>ナフタレン</u>	<u>1,2,4-トリメチルベンゼン</u>
急性毒性 ^{ラット経口} (LD50)	7050mg/Kg	490mg/Kg	5000mg/Kg
急性毒性 (経口)	区分外	区分4	区分外
急性毒性 (経皮)	区分外	区分外	分類できない
急性毒性 (吸入:ガス)	分類対象外	分類対象外	分類対象外
急性毒性 (吸入:蒸気)	分類できない	分類できない	区分4
急性毒性 (吸入:粉塵:ミスト)	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分2	区分外	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2	区分2B	分類できない
呼吸器感受性	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚感受性	分類できない	区分1	分類できない
生殖細胞変異原性	区分外	区分外	分類できない
発がん性	区分外	区分2	分類できない
生殖毒性	分類できない	分類できない	区分2
標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	区分3 (気道刺激性 麻酔作用)	区分1 (血液・眼 気道)	区分1 (中枢神経系) 区分3 (気道刺激性 麻酔作用)
標的臓器/全身毒性 (反腹暴露)	分類できない	区分1 (血液・眼)	分類できない

呼吸器)

吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない	区分 1
水生環境有害性 (急性)	区分 1	区分 1	区分 2
水生環境有害性 (慢性)	区分 1	区分 1	区分 2
オゾン層への有害性	分類できない	分類できない	分類できない

	<u>1,2,3-トリメチルベンゼン</u>	<u>ミネラルスピリット</u>	<u>酢酸カルビトール</u> 4384mg/Kg
急性毒性ラット経口 (LD50)			該当情報なし
急性毒性 (経口)	分類できない	区分外	該当情報なし
急性毒性 (経皮)	分類できない	分類できない	該当情報なし
急性毒性 (吸入:ガス)	分類対象外	分類対象外	該当情報なし
急性毒性 (吸入:蒸気)	分類できない	分類できない	該当情報なし
急性毒性 (吸入:粉塵:ミスト)	分類できない	分類できない	該当情報なし
皮膚腐食性/刺激性	分類できない	区分外	該当情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない	区分外	該当情報なし
呼吸器感受性	分類できない	分類できない	該当情報なし
皮膚感受性	分類できない	分類できない	該当情報なし
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない	該当情報なし
発がん性	分類できない	区分外	該当情報なし
生殖毒性	分類できない	分類できない	該当情報なし
標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	区分 3 (気道刺激性 麻酔作用)	分類できない	該当情報なし
標的臓器/全身毒性 (反腹暴露)	分類できない	分類できない	該当情報なし
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない	該当情報なし
水生環境有害性 (急性)	分類できない	区分 2	該当情報なし
水生環境有害性 (慢性)	分類できない	区分 2	該当情報なし
オゾン層への有害性	分類できない	分類できない	該当情報なし

	<u>2-プロパノール</u>	<u>トルエン</u> 5000mg/Kg	<u>アセチルアセトン</u> 578mg/Kg
急性毒性ラット経口 (LD50)			
急性毒性 (経口)	区分外	区分外	区分 4
急性毒性 (経皮)	区分外	区分外	区分 3
急性毒性 (吸入:ガス)	分類対象外	分類対象外	分類対象外
急性毒性 (吸入:蒸気)	区分外	区分 4	区分 3
急性毒性 (吸入:粉塵:ミスト)	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分外	区分 2	区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2	区分 2B	区分 2B
呼吸器感受性	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚感受性	分類できない	区分外	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	区分外	区分 2
発がん性	分類できない	分類できない	分類できない
生殖毒性	区分 2	区分 1A	分類できない
標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	区分 1 (中枢神経系 全身毒性) 区分 3 (気道刺激性)	区分 1 (中枢神経系) 区分 3 (気道刺激性 麻酔作用)	区分 1 (中枢神経系) 区分 3 (気道刺激性)

標的臓器/全身毒性 (反腹暴露)	区分 1 (血液系)	区分 1 (中枢神経系)	分類できない
	区分 2(呼吸器 肝臓・脾臓)		腎臓)
吸引性呼吸器有害性	分類できない	区分 1	分類できない
水生環境有害性 (急性)	区分外	区分 2	区分 3
水生環境有害性 (慢性)	区分外	区分 3	区分 3
オゾン層への有害性	分類できない	分類できない	分類できない

12.環境影響情報

生体毒性	: 混合物としての知見無し
残留性・分解性	: 混合物としての知見無し
生体蓄積性	: 混合物としての知見無し
土壌中の移動性	: 混合物としての知見無し

13.廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄物処理に関する法律分類では、引火性廃油と廃プラスチック類の混合物である。
産業廃棄物として許可の受けた専門業者に委託する。
焼却時に有害ガスの発生を伴うので、焼却設備には排ガス処理設備が必要である。
- 汚染容器・包装 : 産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。
- その他、廃棄物の処理及び清掃に関する法規制の定めるところに従う。

14.輸送上の注意

- 容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。火気厳禁。その他、消防法、船舶安全法等の法令の定めるところに従う。
- 国連番号 : UN 1 1 3 3
- 国連品名 : 接着剤
- 輸送における危険物有害性クラス : クラス 3 (引火性液体類)
- 容器等級 : III
- 緊急時応急処置指針番号 : 1 2 8

15.適用法令 (化学製品に特に適用される法規制)

- 労働安全衛生法 : 引火性のもの・通知対象化学物質 : ナフタレン・1,2,4-トリメチルベンゼン・1,2,3-トリメチルベンゼン・ミネラルスピリット・2-プロパノール・トルエン・アセチルアセトン
- 有機溶剤中毒予防規則 : 第 2 種有機溶剤
- PRTR 法 : ナフタレン・1,2,4-トリメチルベンゼン・1,2,3-トリメチルベンゼン・トルエン・アセチルアセトン
- 消防法 : 危険物第四類第二石油類 (非水溶性液体) (危険等級 III)
- 船舶安全法 : 引火性液体 (引火点 23℃~60℃)
- その他、地域の法規制の定めるところに従う。

16.その他の情報

- 参考資料 : 国際化学物質安全性カード (ICSC)
有機溶剤作業主任者テキスト
安全データシート作成指針 (日本化学工業協会)
接着剤の安全データシート作成手引き (日本接着剤工業会)
溶剤ポケットブック (オーム社)
JIS Z 7250 (日本規格協会)
原材料メーカーの安全データシート

製品名 : DB 5541 作成 : 2008.05.09

改訂 : 2023.12.01

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の手扱いを対象としたもので、特別な手扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。

特定の化学物質不使用情報シート

会社名 ダイアボンド工業株式会社
住 所 神奈川県愛甲郡愛川町中津 4085
担当部門 厚木工場 品質管理課
電話番号 046-285-0985 FAX 番号 046-286-4292
[管理番号] 作成 2008年05月09日

[製品名] デービーボンド DB5541

[本シートの使用法]

弊社では平素より製品の物質管理及び情報収集に努めております。また情報は国内法の規定に従い SDS に記載して、お客様にお届けして参りました。しかし海外法等の規定から、特定の化学物質の詳細な含有情報をご要求頂く事が増えております。本シートはこのようなご要求にお答えして、SDS を補完する目的で作成しました。

[製品中の特定の化学物質含有調査]

主要海外法規の規制物質を中心に調査いたしました。

物質群名	使用の有無	分析値
カドミウム及びその化合物	無	
六価クロム化合物	無	
鉛及びその化合物	無	
水銀及びその化合物	無	
TBT類、TPT類	無	
TBTO	無	
塩化パラフィン(短鎖)	無	
PBB類	無	
PBDE類	無	
PCB類	無	
ポリ塩化ナフタレン(塩素数が3以上)	無	
アスベスト類	無	
特定アゾ化合物	無	
オゾン層破壊物質	無	
放射性物質	無	
ホルマリン	無	

* 意図的に添加したことでの使用の有無を記載しました。

* 分析をおこなっている物については分析値として記載しています。

[その他] 以下の国内法上管理要求されている物質の含有量は安全データシート(SDS)を参照下さい。

◎化管法 ◎安衛法(通知対象物質) ◎毒劇法(毒劇物)

本製品は下記国内法で製造・輸入を禁止されている物質を意図的に添加しておりません。

◎ 化審法(第1種特定化学物質) ◎安衛法(製造禁止物質) ◎毒劇法(特定毒物)